

日本経済が緩やかな景気回復の兆しを見せ始めている中、アジア経済全体も構図調整をしながら堅調な成長を持続させてきました。アジア域内各国同士が自己利益を前面に押し出した競争よりも、ともに持続発展が期待される協力体制作りが求められています。

今こそ域内企業が主体的にパートナーを物色し、提携を組む理想的な環境にあり、その戦略姿勢が今までになく問われています。明治維新150周年という記念すべき時節に、アジアと強い結びつきを有し、維新の先導役を果たした九州の地で、東アジア地域から著名な専門家をお招きし、知見を出し合う本セミナーを開催します。

2018年 **3月15日** (木)
13:30~17:30 (開場 13:00)

北九州国際会議場 国際会議室

北九州市小倉北区浅野3-9-30

■主催 北九州市立大学 中華ビジネス研究センター

■共催 北九州商工会議所

【プログラム】

●代表挨拶 (13:30-13:35)

北九州市立大学学長 松尾 太加志

●基調講演 「“一带一路構想”が日中ビジネス協力に及ぼす影響」 (13:35-13:55)

中央民族大学学長、中国人民大学中国民营企业研究中心長 黄 泰岩

●パネルディスカッション 1 「東アジア系企業の成長」 (13:55-15:25)

パネリスト 劉 宏 国立南洋理工大学(シンガポール)人文社会科学学院院长、南洋公共管理研究院院長

朱 沆 中山大学(中国)管理学院教授

楊 蕙馨 山东大学(中国)管理学院院長、山东大学産業組織・企業組織研究所長

黄 泰岩 中央民族大学学長、中国人民大学中国民营企业研究中心長

モデレーター 王 効平 北九州市立大学ビジネススクール教授、同中華ビジネス研究センター長

●パネルディスカッション 2 「地域間ビジネス連携のスキーム作り」 (15:40-17:10)

パネリスト 牧野 成史 香港中文大学工商管理大学院教授、同大学国際ビジネス研究センター所長

戴 志言 中華経済研究院(台湾)国際経済研究所副研究員

古田 茂美 マカオ大学管理学院客員教授、ヤマト運輸アドバイザー

田端 弘道 TOTO株式会社顧問、北九州市立大学ビジネススクール特任教授

モデレーター 前田 知 北九州市立大学ビジネススクール特任教授、大忠貿易有限会社代表取締役

●総合質疑 (17:10-17:30)

参加ご希望の場合は、電話、FAX もしくはEメール(裏面の申込書情報を記載)にてお申し込み下さい。

【お問合せ】

北九州市立大学 中華ビジネス研究センター

〒802-8577 北九州市小倉南区北方4丁目2-1

TEL : 093-964-4013 FAX : 093-964-4015 Eメール: ccbs@kitakyu-u.ac.jp 担当 : 麻生、前田

参加
無料

講師略歴（出講順、敬称省略）

■ 基調講演

黄 泰岩 中央民族大学学長、中国人民大学中国民营企业研究センター長

中国人民大学経済学博士。

中国人民大学経済学院准教授、教授、副院長を経て、2002年～2005年中国人民大学経済改革発展研究院院長、同大学『経済理論と経済管理』編集長、2005年より経済学分野长江学者に選ばれ、2011年遼寧大学副学長、2012年より同学長、2015年より現職。専門分野：市場システム、企業戦略論。1993年-1995年米国サウスカリフォルニア大学客員教授。全国大学経済理論・実践学会秘書長、中国経済発展研究学会長、中国中小企業国際協力協会常務理事、国家社会科学基金審査委員会委員ほか多数の公職を兼務。中国経済の市場化改革、民营企业の育成をリードしてきた著名な経済学者。2013年より中国全国人民代表大会代表（国会議員相当）。

■ パネリスト

劉 宏 国立南洋理工大學（シンガポール）人文社会科学学院長、南洋公共管理研究院院長

米国オハイオ大学歴史学博士（1995年）

1995年11月-2006年6月シンガポール国立大学中国学部准教授、芸術&社会科学大学院院長代理、2006年7月-2010年9月英国マンチェスター大学東アジア学部教授、同学科長、中国研究センター長を経て、2010年10月よりシンガポール南洋理工大學人文社会科学学院教授、学院長、2014年1月より南洋公共管理研究院院長。専門領域：歴史学、移民史、華人ネットワーク。シンガポール華人協会連合会常務理事、シンガポール孫文南洋記念館学術委員会委員、シンガポール教育省中国研究教程開発部委員、米国オハイオ大学海外華人研究センターアドバイザー委員会委員、英国ロンドン大学連合中国委員会副会長、世界華僑・華人研究機構&図書館連合会常務理事などの公職を兼務。東南アジア社会研究、華僑・華人ビジネス・ネットワーク研究で顕著な業績をあげ（単行本著書13）、多数回学術賞を受賞。英米の著名な学術雑誌編集長を始め、計30数誌の編集委員、審査委員を歴任。

朱 沆 中山大学（中国）管理学院教授

中山大学管理学博士。中山大学管理学院（ビジネススクール）講師、准教授を経て、2016年より教授。同族経営センター兼任研究員、『管理学季刊』編集部主任、中国民営経済研究会同族経営委員会顧問、広州市越秀区総商會理事会学術特別委員。専門分野：ベンチャービジネス、同族企業研究。一流ジャーナルに多数の専門論文を掲載。著書『人治から法治へ：広東系同族企業のガバナンス』（社会科学文献出版社）、『同族起業』（機械工業出版社）。広東省教育優秀賞受賞、開発したビジネスケースがカナダ IVEY ケースバンクに入選。

楊 蕙馨 山東大学（中国）管理学院長、山東大学産業組織・企業組織研究所長

南開大学経済学博士。山東大学管理学院（ビジネススクール）准教授を経て、1998年教授昇任、2004-2013年同管理学院副院長、2013年より同管理学院長。1986年-1987年フランスパリ大学にて訪問研究。中国工業経済学会常務副理事長、同産業組織専門委員会主任委員、山東省比較管理研究学会長。専門分野：企業戦略、イノベーション、企業競争力研究。研究成果が孫治方経済科学賞、教育省大学人文社会科学優秀賞ほか多数回受賞。著書『企業の産業参入・退出と産業組織政策』（上海三聯書店出版&人民出版社の「現代経済学文庫シリーズ」に選入・出版された）。

牧野 成史 香港中文大学工商管理學院教授、同大学国際ビジネス研究センター所長

慶応大学経営管理研究科修士、ウェスタンオンタリオ大学博士

1995年より香港中文大学工商管理學院勤務。2007-2013年同学院マネジメント学科長、2013年より同大学国際ビジネス研究センター所長。専門領域：経営戦略・国際経営・組織理論。2007-2009年 The Association of Japanese Business Studies (AJBS) 会長、2010-2011年 The Academy of International Business (AIB) 副会長（2010-2011年）歴任、AIB Fellow, International Business Review 誌から国際経営分野で最も影響力のある研究者20人の一人に選出される。2013年香港中文大学より Outstanding Fellow の称号を授与される。現在主要国際学術誌十数誌において編集委員を務める。

戴 志言 中華経済研究院（台湾）国際経済研究所副研究員

国立中山大学（台湾）MBA、経営学博士。台湾工業技術研究院、商業發展研究院研究員を経て、2012年より現職。機械産業におけるサプライチェーンマネジメント、新規創業イノベーションに関する鋭い分析に定評がある。IoT、人工知能のサービス産業における実用化に関わる台湾企業の競争力に関する調査研究成果多数。台湾企業（産業）の強みと台湾経済の構造的課題を熟知し、技術力とブランド力を有する日本企業、競争力を増してきた中国大陸系企業との提携スキームの創出について積極的に提言している。

古田 茂美 マカオ大学管理学院客員教授、ヤマト運輸アドバイザー

国際基督教大学大学院行政学研究科行政学修士(MPA)、神戸大学大学院経営学研究科経営学修士(MBA)、立命館大学大学院国際関係学研究科国際関係学博士(PhD) 香港貿易發展局香港本局に初の日本人スタッフとして入局。大阪市経済局、大阪市長室などを経て1994年香港貿易發展局に復局、香港本局海外事業部日本課長、大阪事務所所長などを経て、2005年-2015年同局日本首席代表。大阪市総合計画審議会委員、大阪市中小企業対策審議会委員、NTTドコモ関西西経営アドバイザー委員、大阪観光コンベンション協会評議員などの公職、九州大学ビジネススクールアドバイザー委員を歴任。2005-2008年立命館大学ビジネススクール客員教授、2013年-北九州市立大学ビジネススクール特任教授、2016-2017年中山大学管理学院客員教授、2018年-マカオ大学管理学院客員教授。

田端 弘道 TOTO株式会社顧問、北九州市立大学ビジネススクール特任教授

1978年東京工業大学高分子工学科卒業、同年東陶機器株式会社(現 TOTO 株式会社)入社インドネシア、中国、米国の駐在を含め殆どを海外畑を歩いた。2004年に取締役海外グループ長に就任後、約10年間にわたり TOTO の海外事業の基礎を築いた。2010年からは取締役専務執行役員として国際事業本部の他にレストラン事業部、水栓機器事業部も担当した2014年より TOTO 株式会社顧問。2016年より北九州市立大学特任教授就任し、現在に至る。

■ モデレーター

王 効平 北九州市立大学ビジネススクール教授、同中華ビジネス研究センター長

九州大学大学院経済学研究科博士後期課程修了、経済学博士。

財団法人国際東アジア研究センター専任研究員、北九州市立大学商学部准教授、同経済学部教授を経て、2007年よりビジネススクール教授、2011年4月-2017年3月同研究科長、同中華ビジネス研究センター長兼務。1995年～96年 UNIVERSITY OF CALIFORNIA AT BERKELEY 訪問研究員。主要研究領域：国際経営、比較経営、アジア型経営。主要な社会活動実績：福岡市マスタープラン審議会委員、同経済構造審議会委員、日本港湾協会東アジアコンテナー航路調査委員会委員、アジア経済研究所・九州経済調査協会九州のアジア化戦略研究会委員、日本国際金融情報センター企業経営研究会主査（代表）、東アジア学会理事、日本華僑華人研究会理事・学術委員など。

前田 知 北九州市立大学ビジネススクール特任教授、大忠貿易株式会社代表取締役

1994年段谷産業株式会社に入職後、98年に海外事業部中国室室長に就任。2002年に大忠貿易株式会社設立。2004年に中国大連に大連忠成木業有限公司を設立し董事就任。2009年北九州市立大学マネジメント研究科を卒業後、2011年に現地内資法人稲田光触媒科技環保(大連)有限公司を設立。2014年より北九州市立大学マネジメント研究科中華ビジネス研究センターの研究員。

FAX 申込書

●申込期限 3月13日(火)まで

お名前	フリガナ	FAX番号 093-964-4015
住所 〒		
勤務先	電話番号 Eメール	